



エコシップマーク  
http://www.ecoship.jp

エコシップマーク NEWS

エコシップ・モーダルシフト事業実行委員会

## 第2回「エコシップマーク」 認定事業者32者が決定。

認定事業者を対象とした国土交通省海事局長表彰式が  
11月27日(金)海運クラブで行われます。

海上輸送を通じて環境対策に貢献する企業に対し認定される  
「エコシップマーク認定制度」第2回受賞企業に32者が選ばれました。

エコシップ・モーダルシフト事業実行委員会（フェリー事業者、RORO船、コンテナ船、自動車船事業者等で組織）では、国土交通省海事局の協力を得て、平成21年10月27日(火)に開催された第2回エコシップ・モーダルシフト優良事業者選定委員会（委員長加藤俊平 東京理科大学名誉教授）において、第2回「エコシップマーク」認定事業者を以下のとおり決定しました。

今回で2回目を迎えた「エコシップマーク認定制度」では、温室効果ガス排出削減に対する企業意識の高まりと共に参加企業が増加し、昨年（25者）を上回る32者が選ばれました。

今回の受賞企業の多くが独自の環境マネジメントシステムを確立し、陸上輸送中心の物流システムから海上輸送への効率的なモーダルシフトに移行することにより、物流コストの削減を図ると共に環境問題への積極的な取り組みを続けているのが特徴です。

認定事業者32者を対象とした国土交通省海事局長表彰式は、11月27日（金）午前11時から 海運クラブ（東京都千代田区平河町2丁目6-4海運ビル 電話：03-3264-1825）で行われます。

### ■平成21年度第2回エコシップマーク認定事業者

荷主	物流事業者
王子製紙(株)富岡工場	王子物流(株)
コストコホールセールジャパン(株)	センコー(株)
三和酒類(株)	(株)エヌエスユー物流サービス
(株)フセラシ	(株)エヌエスユー物流サービス
旭硝子(株)鹿島工場	エージーシーロジスティクス(株)鹿島営業所
日本精工(株)	1.NSKロジスティックス(株) 2.鈴与(株)運輸事業部
テルモ(株)富士宮工場	1.共立運輸(株) 2.小樽倉庫(株)
(株)オンワード樫山広島支店	アクロストラnsポート(株)
細倉金属鋳業(株)	大隅運輸(有)
エイティー九州(株)	1.碧南運送(株) 2.鈴与カーゴネット(株)
ハーゲンダッツジャパン(株)	カネ幸(株)
ユニ・チャームプロダクツ(株)福島工場	トランコム(株)
(株)ユニシア九州	日本通運(株)博多港支店
富士重工業(株)エコテクノロジーカンパニー	(株)スバルロジスティクス部品物流本部宇都宮事業部
横浜ゴム(株)新城工場	オー・オー・シー・エル・ロジスティクス・ジャパン(株)

エコシップマーク制度は、地球環境にやさしい海上貨物輸送を一定以上利用している荷主、物流事業者に対して、「エコシップマーク」の認定を行い、マークの表示によって環境にやさしい企業としてのイメージアップに役立てていこうというものです。また、「エコシップマーク」を商品、カタログ、車体等に表示することにより、海上輸送を通じた環境対策に貢献する企業としてアピールし、消費者に認識してもらうことで、海上貨物輸送へのモーダルシフト化を一層促進することを目的としています。（認定基準）原則100km以上の航路（沖縄、離島、青函航路を除く）において、海上貨物輸送量（トンキロ）20%以上を利用した者・前年度に比べ、海上貨物輸送量（トンキロ）のシェアが10%以上改善した者・海上貨物輸送を利用してCO2排出量を10%以上削減した者

#### エコシップ・モーダルシフト事業実行委員会

○日本長距離フェリー協会 電話：03-3265-9685 ■担当：三膳、渡辺

○日本内航海運組合総連合会調査企画部 電話：03-3263-4630 ■担当：野口、山谷

○国土交通省海事局 内航課 電話：03-5253-8111 ■担当：佐藤（内43452）、中村（剛）（内43453）、山倉（内43462）、吉野（内43463）



# エコシップ・ モーダルシフト事業の概要。

エコシップマーク

<http://www.ecoship.jp>

## ■目的

エコシップ・モーダルシフト事業は、一般貨物の輸送に関し、海運事業者、荷主企業等が一体となって、環境負荷が少なく省エネ・CO<sub>2</sub>削減に効果のあるフェリー、RORO船、コンテナ船、自動車船の利用を促進することにより、海上貨物輸送への一層のモーダルシフトを図ることを目的とします。

## ■事業内容

海上輸送へのモーダルシフトに貢献する荷主企業及び物流事業者を選定して、エコシップマークの使用を認めるとともに、特に貢献度の高い優良事業者を顕彰します。

## ■対象航路

一般貨物輸送において、フェリー、RORO船、コンテナ船、自動車船等モーダルシフトの受皿となる航路(原則100km以上、除く沖縄航路、離島航路)

## ■選定方法

フェリー、RORO船、コンテナ船、自動車船事業者(エコシップ・モーダルシフト事業実行委員会参加事業者)、からの推薦を基に、学識経験者、国土交通省を含めた「選定委員会」で選定

## ■選定基準

- 1.海上貨物総輸送量/総貨物輸送量(トンキロ)が20%以上の輸送に船舶を利用した者(会社又は事業所・工場単位)。
- 2.前年度の輸送実績に対し、海上輸送量のシェアが10%以上改善した者。ただし、平成20年度にあっては、平成18年度/平成17年度の海上輸送量のシェアが10%以上改善した者(会社又は事業所・工場単位)3.船舶の利用(輸送トン数)が20%以上あって、総貨物輸送トンキロが前年度の輸送実績に対し20%以上削減した者。

## ■実施主体

エコシップ・モーダルシフト事業実行委員会

## ■エコシップ・モーダルシフト事業実行委員会参加事業者

### <フェリー事業者>13者

オーシャントランス株式会社、川崎近海汽船株式会社、関西汽船株式会社、四国開発フェリー株式会社、ジャンボフェリー株式会社、商船三井フェリー株式会社、新日本海フェリー株式会社、瀬戸内海汽船株式会社、太平洋フェリー株式会社、株式会社ダイヤモンドフェリー、阪九フェリー株式会社、宮崎カーフェリー株式会社、株式会社名門大洋フェリー

### <RORO・コンテナ・自動車船事業者>14者

井本商運株式会社、川崎近海汽船株式会社、近海郵船物流株式会社、栗林商船株式会社、商船三井フェリー株式会社、鈴与海運株式会社、大王海運株式会社、トヨフジ海運株式会社、日藤海運株式会社、日本海運株式会社、八興運輸株式会社、株式会社フジトランスコーポレーション、プリンス海運株式会社、マロックス株式会社

## エコシップ・モーダルシフト事業実行委員会

○日本長距離フェリー協会 電話：03-3265-9685 ■担当：三膳、渡辺

○日本内航海運組合総連合会調査企画部 電話：03-3263-4630 ■担当：野口、山谷

○国土交通省海事局 内航課 電話：03-5253-8111 ■担当：佐藤(内43452)、中村(剛)(内43453)、山倉(内43462)、吉野(内43463)